



# さて、何から手を付ける？

## DLP対策の第一歩は〇〇〇〇から！



丸紅 I-DIGIO グループ

セキュリティソリューション事業本部  
インテグレーション技術部

2025年12月17日

## プロフィール

### 秩父 彩香

Ayaka Chichibu

セキュリティソリューション事業本部  
インテグレーション技術部 技術第一課  
テックリード



- 2021年よりNetskopeの導入・展開を担当
- メーカー上位資格であるNSK300を保有
- FY25 Netskope Partner Awardにて「SE MVP」を受賞
- 趣味はダンスとスタンプラリー
- 好きな食べ物は白米とネギ塩牛タン



# What's DLP ?

---

DLPとは何なのか？

企業が持つ **機密情報** や **個人情報** などの重要なデータが、

不正に**外部へ漏えい**したり、**失われたり**するのを防ぐためのセキュリティ対策、システム、または製品

- ✓ 内部不正/過失による情報漏えい件数は増加傾向であり、セキュリティ対策として検討すべきテーマ
- ✓ クラウド/エンドポイント中心のネットワーク構成でも対応可能な情報漏えい対策が必要  
→データは境界の外側で動くのが当たり前、社内だけ守っていても意味がない！

# Why DLP ?

なぜDLP対策をやるのか。

ひとこと言うと

機密データや個人情報が

**漏洩・消失** することを防ぎたい。

Next

Agenda

— このセミナーではなにが分かる？

# Agenda

このセミナーでお話しすること。

1

実はあるある？ やってるつもり の DLP対策

2

**丸**パクリOK！ **丸紅I-DIGIO**流 DLP対策 を解説

3

いざ実践、DLP活用支援パッケージのご紹介

「なにから始めたらいいかわからない」を卒業して、

DLP対策の第一歩目のキーワード **〇〇〇〇** をぜひ覚えて帰ってください！



実はあるある？

やってるつもり の DLP対策



# まずは考えてみよう

どうやってDLP対策を進める？

## ゴール設定

DLP対策をすることで **なにを実現したい** のか考えて、

## 製品導入

DLP対策機能に強みを持つ **製品** を比較検討し、**導入**する。

# まずは考えてみよう

どうやってDLP対策を進める？

ゴール設定

DLP対策をすることで **なにを実現したい** のか？



機密データや個人情報が **漏洩・消失** することを防ぎたい。

じゃなくて、もっと具体的に言えますか？

# まずは考えてみよう

どうやってDLP対策を進める？

製品導入

DLP対策機能に強みを持つ **製品** を比較検討し、**導入**

大きな声では言えませんが…

導入したただけで完結するDLP製品なんてアリマセンよ。

初期設定をしたあとは  
**どうやって**DLP対策するんですか？

# あるある？やっってるつもりDLP対策

どんなところがやっってるつもりなのか。

## ゴール設定

DLP対策をすることで **なにを実現したい** のか考えて、

## 製品導入

DLP対策機能に強みを持つ **製品** を比較検討し、**導入**する。

# あるある？ やってるつもりDLP対策

どんなところがやってるつもりなのか。

ゴール設定

**Why DLP?** の深堀り不足 ▶ なんのために必要なのか答えられない

製品導入

**How DLP?** を考えていない ▶ 製品を買って満足、そのあとが続かない

Next

**丸紅 I-DIGIO 流**  
— DLP対策の流れを解説します！



**丸**パクリOK!

**丸紅 I-DIGIO** 流 DLP対策を解説



# マルチ

#日本の警察用語  
警視庁内に存在する要人警護をおこなう専門部隊である  
Security Police 通称SP (エスピー) が**警護する対象者**のこと

# マルタイ

Name	山田太郎
Age	65歳
Gender	男性
Blood type	O+型
Occupation	内閣総理大臣
Nationality	日本
...	...
...	...



# 警護計画



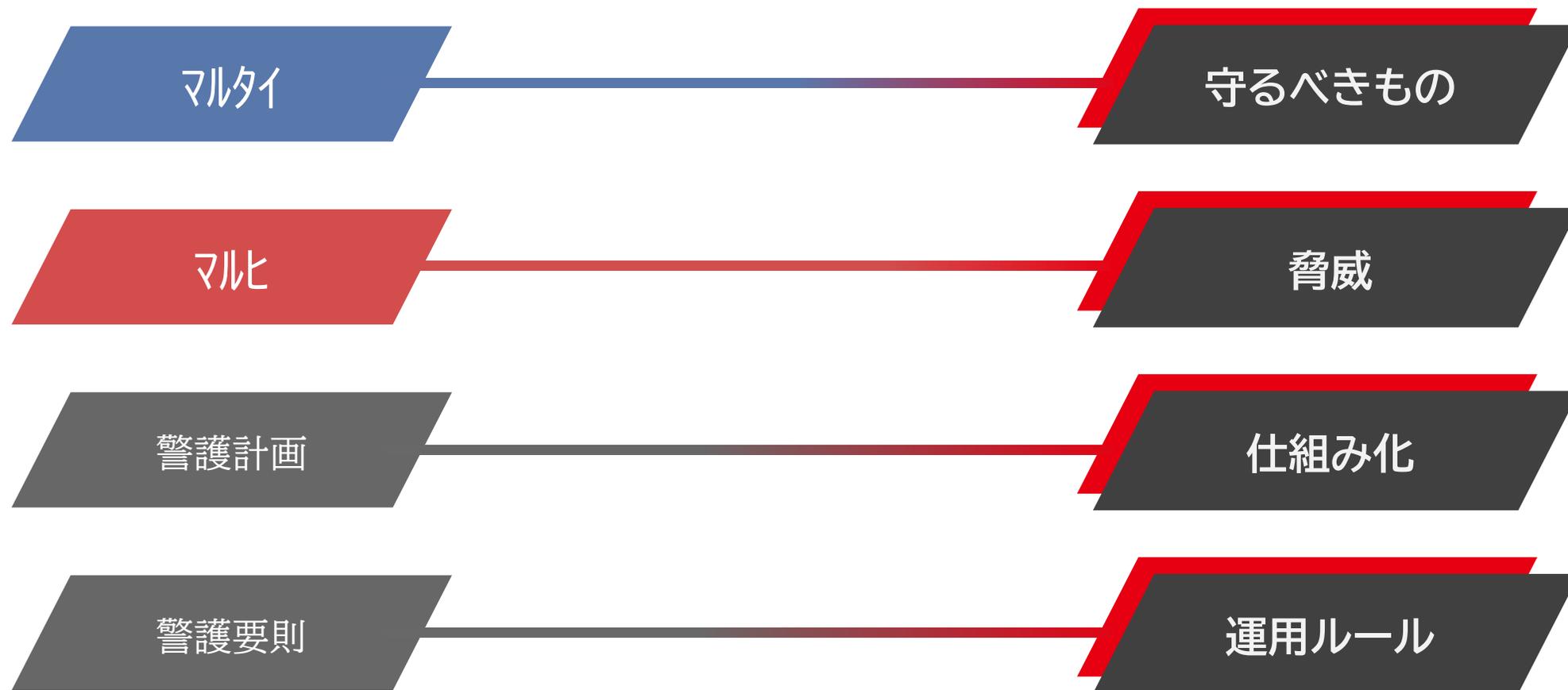
# マルヒ

# 警護要則



# 初解説！ DLP対策の進め方

要人警護の要素をDLP対策に当てはめる



# 初解説！ DLP対策の進め方

ホンモノのDLP対策に重要な4つの要素

守るべきもの  
マルチ

脅威

仕組み化

運用ルール

# 初解説！ DLP対策の進め方

ホンモノのDLP対策に重要な4つの要素

守るべきもの  
マルタイ

自社にとっての**マルタイ**=重要な情報資産、機密情報を明確に

脅威

**どんな脅威**から情報資産を守るべきなのか見極める

ヒューマンエラー、内部不正 など

仕組み化

脅威を防止したり、検知するための仕組み作り

ポリシー、規定、ユーザ教育 など

運用ルール

検知後の**フロー**や平時の**運用ルール**をあらかじめ定める

# 初解説！ DLP対策の進め方

やってるつもり対策のダメなところもしっかりカバー

守るべきもの  
マルチ

脅威

## Why DLP?

## How DLP?

仕組み化

運用ルール

# 初解説！ DLP対策の進め方

不動産業界で丸パクリしてみたら

守るべきもの  
マルチ

- ・ 不動産・物件固有情報(未公開物件情報、評価・査定書、図面など)
- ・ 契約・法的な書類(売買・賃貸借契約書、重要事項説明書)

脅威

- ・ 図面や契約情報を誤って別の顧客宛てにメールで送付
- ・ 協力業者への安易なデータ共有
- ・ 退職時の顧客リスト持ち出し(成果報酬型の営業職は特に注意！)

仕組み化

- ・ 氏名や住所等の個人を識別できる情報を検知するポリシーの作成
- ・ 「固定資産税評価額」「登記済証」「権利証」など業界ならではの用語でも検知できるようにユーザー辞書登録の実施
- ・ 社外へ公開設定のフォルダにファイルを格納しても即座に公開範囲を上書きできるラベルの設定

運用ルール

- ・ 実際にアラートを検知したあとの対応フローや、エスカレーションパスの策定
- ・ 現行のポリシーが適切かを分析するための定期レポートの出力、レビュー

# 初解説！ DLP対策の進め方

とはいえ、

守るべきもの  
マルチ

や

脅威

なんて、急にそんなにスラスラ思い浮かばないし・・・

仕組み化

や

運用ルール

は、どうやったら効率よくできるか、  
むしろ教えてほしいんだけど！

Next

いざ実践！  
－ DLP活用支援パッケージ紹介



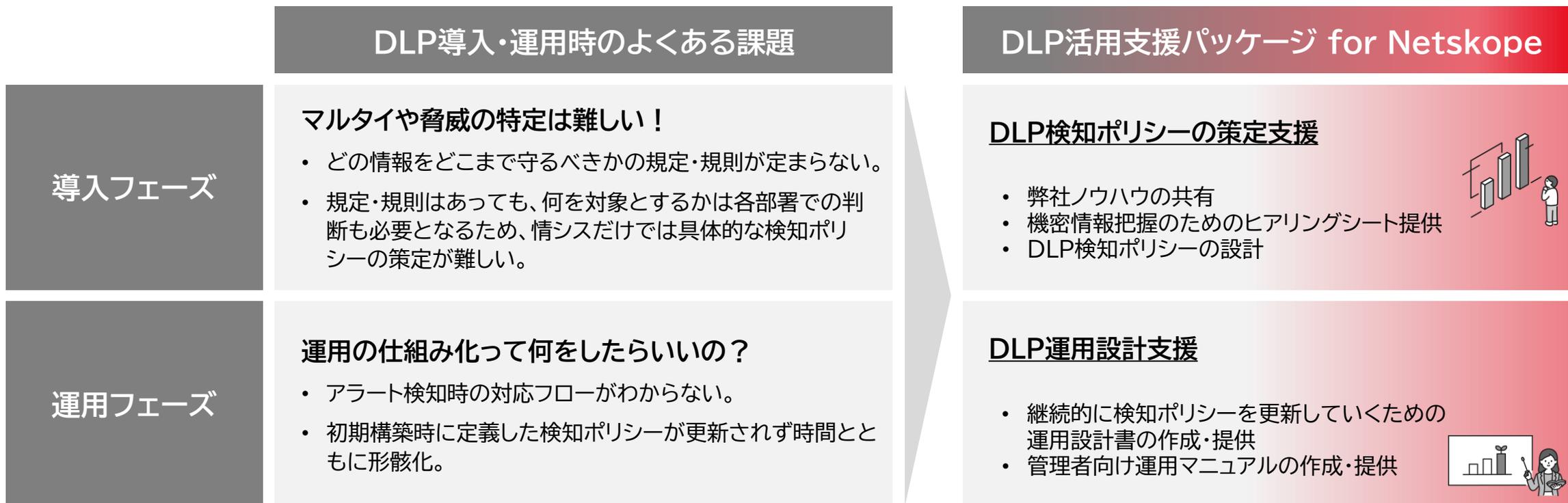
いざ実践！

# DLP活用支援パッケージのご紹介



# DLP活用支援パッケージ for Netskope

マルチの洗い出しや運用ルール決め。自力では自信がない情シス担当者様、**必見!**



どちらのニーズにもお応えします

- 既にCASB,SWG対策を行っていて、DLPを強化したい!
- まだNetskope自体入れていないけど、どうせやるなら一気に設計したい!

# DLP活用支援パッケージ for Netskope

たとえばこんなケース

## 課題

- マルタイや脅威を特定し、どんな項目をDLPで検知すべきなのか既定・規則の定義が難しい。
- グループ各社に導入したものの、それぞれで機密情報の定義が異なるため集約管理が難しい。
- グループ各社の管理・運用まで行おうとすると、情シス部門のリソースが足りない。



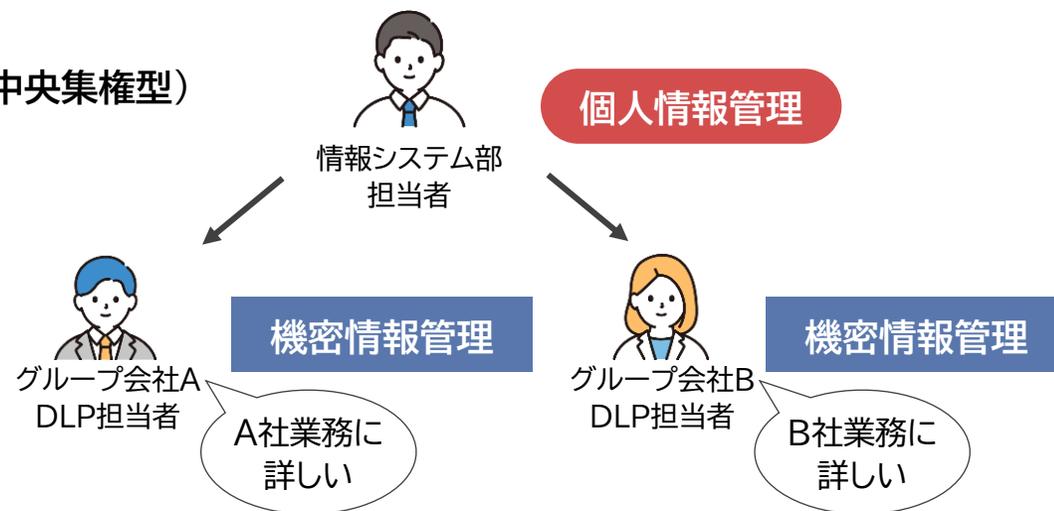
個人情報管理

機密情報管理

## 解決案

- 個人情報に関するDLP検知ポリシーの作成は、情報システム部門で管理・運用(中央集権型)
- 機密情報は各社で規定・規則が異なるため、各社で管理・運用(分散型)

**継続的かつ実効性のあるDLP活用を実現！**



# DLP活用支援パッケージ for Netskope

## DLP活用支援パッケージの流れ

### DLP活用支援パッケージ ご支援範囲

ヒアリングフェーズ

設計フェーズ

実装・プレ運用フェーズ

運用・拡張フェーズ

何を検知対象としていいかわからない状態

何を実装するか具体化された状態

貴社環境内の実情が見えてきた状態

検知実績やログをもとに検知は自動、制御は人力で運用できる状態

検知から制御までがすべて自動化された状態

方針確定

設計確定

アラート実装

是正指示  
+  
誤検知潰し込み

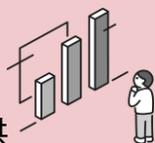
自動運用

丸紅定義をベースにDLP検知をはじめてみる

既存環境にNetskope DLPを実装してみる

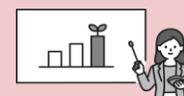
#### DLP検知ポリシーの策定支援

- 弊社ノウハウの共有(DLPあるある)
- 機密情報把握のためのヒアリングシート提供
- DLP検知ポリシーの設計

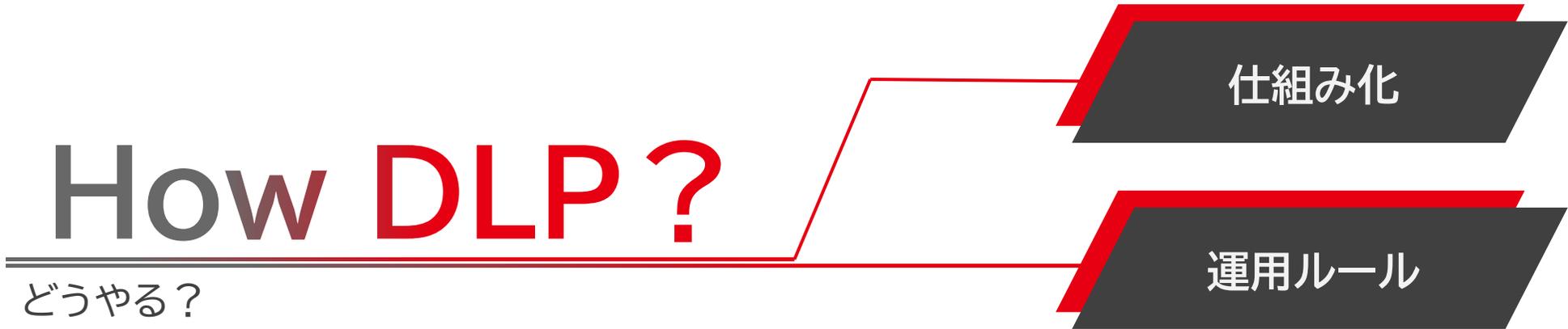


#### DLP運用設計支援

- 継続的に検知ポリシーを更新していくための運用設計書の作成・提供
- 管理者向け運用マニュアルの作成・提供



DLP対策で重要な、2つの問いと4つの要素



# マルチ

**EOF**

本書は、丸紅I-DIGIOグループ(当グループ)の著作権法上の「著作物」と不正競争防止法上の「営業秘密」を含んでおります。本書に記載される当グループのアイデア及びコンセプト等は、業務を提供する当グループのスキル・能力等ご評価頂くことを目的に使用されております。よって、貴社以外の第三者への配布はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。